

(社)日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第9回 LLW 放射能評価分科会 (F10Ph2SC) 議事録

1. 日時 2008年10月28日(火) 13:30~15:30
2. 場所 仏教伝道センタービル 4階 光の間
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
(出席委員) 川上(主査), 岩崎(副主査)(途中退席), 片寄(幹事), 黒澤, 佐々木, 宿谷, 市毛, 高橋, 田中, 石川, 中島, 中田, 福村, 中山, 見上, 渡邊(16名)
(代理出席委員) 尾崎(柏木代理)(1名)
(欠席委員) 明里, 森本(2名)
(常時参加者) 浅野, 飯田, 五十嵐, 石川, 中瀬(大塚代理), 大間(途中出席), 林(北村代理), 三根, 三宅, 村木, 山田, 福島(八木代理), 向原, 西村(能浦代理), 中野(15名)
(欠席常時参加者) 熊野, 杉山(2名)
(事務局) 岡村, 谷井
4. 配布資料
F10Ph2SC9-1 前回議事録案
F10Ph2SC9-2 標準委員会の活動状況
F10Ph2SC9-3 人事について
F10Ph2SC9-4 同一元素又は同類の元素の分布を参考にした標準偏差の設定について
F10Ph2SC9-5-1 「余裕深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順(仮称)」標準本体 記載事項(案)
F10Ph2SC9-5-2 「余裕深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順(仮称)」解説 記載事項(案)
F10Ph2SC9-6 附属書における規定と参考の整理案(標準本体 5.2.1a) /附属書 B /附属書 C の比較)
F10Ph2SC9-7 「余裕深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順(仮称)」標準本体/附属書/解説案一式
F10Ph2SC9-8 「LLW 放射能評価分科会」の今後の予定について

5. 議事

(1) 出席委員の確認

事務局より、開始時点で委員 19 名中、代理委員を含めて 17 名の出席があり、決議に必要な委員数（13 名以上）を満足している旨の報告があった。

(2) 前回議事録案の確認 (F10Ph2SC9-1)

前回議事録案について、事務局より事前に配布したものから変更は無い旨説明があり、承認された。

(3) 標準委員会の活動状況 (F10Ph2SC9-2)

事務局より、標準委員会の活動状況について説明が行われた。

(4) 人事について (F10Ph2SC9-3)

事務局より松村氏（北海道電力(株)）の常時参加者解除の報告が行われた。

(5) 同一元素又は同類の元素の分布を参考にした標準偏差の設定について (F10Ph2SC9-4)

尾崎常時参加者(柏木委員代理)より、F10Ph2SC9-4 に従い、放射化計算における微量元素(材料の元素分析で検出されない元素、検出例が少ない元素)の濃度設定の考え方について説明があり、以下を反映・修正することで概ね了承された。

主な議論：

- ・提示された考え方は、「このような考え方もある」という位置づけとする。
- ・“同類の元素”とは、周期律表の同族のような化学的挙動が類似したものを示すことから、「化学的性質が類似した元素」の記載とする。

(6) 標準本体及び解説の修正案 (F10Ph2SC9-5-1, 5-2)

五十嵐常時参加者より、F10Ph2SC9-5-1, 5-2 に従い、前回提示した標準本体及び解説案の変更案について説明があり、以下の議論を反映することとした。

主な議論：

○ 本体について

- ・3.2 放射化計算の定義について、“放射性物質生成量”は“放射エネルギー”とすべきである。
→ 記載を改める。
- ・5.2.1 で示されている“例 1”～“例 3”について、適用条件(…の条件、状況であればこの例に該当すること)を本体に明記したほうがよい。
→ “例”としているのは、適用条件等を規定しない応用例として扱っているため

- ・5.2.1 例4は例1と同様に組成比を用いることから、例1との違いがわかるような記載にしたほうがよい。

- 相違が明確になるよう、記載を改める。

- ・本体表1で、理論計算法を(2段に)区分する必要は無いものと思われる。

- 区分しない方向で記載を改める。

○ 解説について

- ・解説表1の“計算結果の平均による場合”の「平均」は、複数の計算結果に基づき廃棄物グループの代表的な放射能濃度を決定する方法が「平均値」を求めることと誤解されるので、「平均」という言い方を見直してはどうか。

- 「平均」という記載を改める。

- ・5.2.1 例2の記載の中に、例1や例3に記載されている適用の前提条件がなく、記載のレベルが統一されていない。

- 記載レベルの統一を図る。

(7) 附属書における規定と参考の整理案(F10Ph2SC9-6)

尾崎常時参加者(柏木委員代理)より、F10Ph2SC9-6に従い、附属書Bと附属書Cを“規定”と“参考”に区分していることについて説明があり、了承された。

(8) 標準本体/附属書/解説のイメージ確認(F10Ph2SC9-7)

片寄幹事より、F10Ph2SC9-7に従い、標準案の構成(本体、附属書及び解説)の一式について説明があった。

⇒コメントは、11/4までに片寄幹事へ連絡する。

(9) 分科会の今後の予定について(F10Ph2SC9-8)

片寄幹事より、F10Ph2SC9-8に従い、12月3日開催のサイクル専門部会への中間報告に向け検討を進めることが了承された。

6. 次回の予定について

次回は、11月19日(水)13時30分から開催する。

以 上